

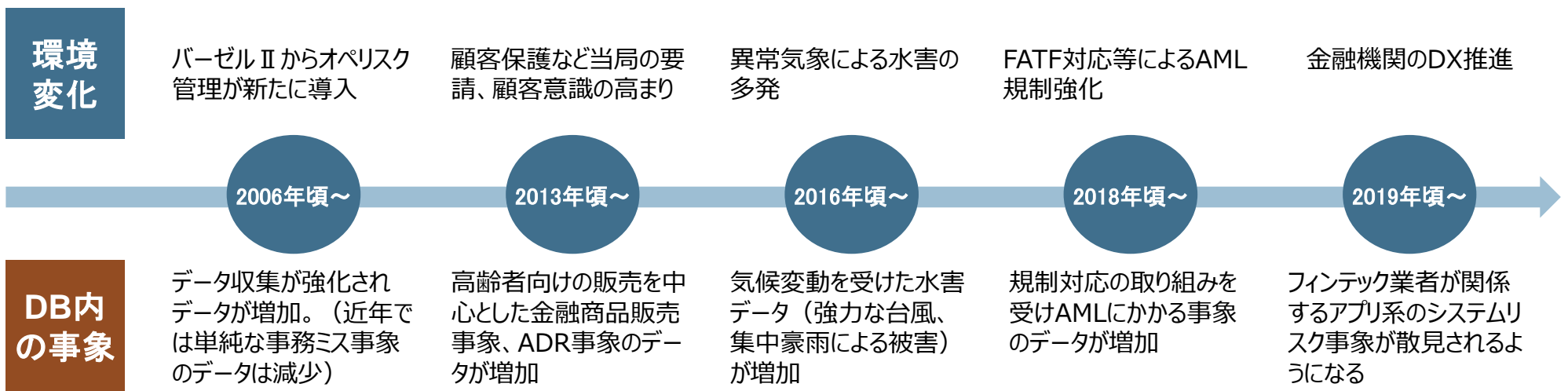
オペレーショナル・リスク・データベース サービスのご紹介



日本リスク・データ・バンク 株式
会社
The Risk Data Bank of Japan, Limited

未来を想像し創造する「データアーティスト」

<環境変化とオペリスクDB>



今後も...

- 金融機関の更なるDXの推進
- 行員の働き方の変化
- 銀行法の改正
- DX化により今まで想定されなかった業務においてオペリスク事象(特にシステムリスク事象)が多発する
- テレワーク、副業などに起因するオペリスク事象が発生する
- ニュービジネスでオペリスク事象が発生する

- 各金融機関のオペリスク事象を収集した**オペレーショナル・リスク・データベース**を通じて、金融機関を取り巻く**外部環境を把握**することが可能です。
- 他行のオペリスク事象を「**他山の石**」とし、**効率的かつ効果的に**自行のオペリスク管理を実現できます！



① 潜在しているオペリスクを見つける

- ケーススタディとして他行事象を分析し、自行に同様のオペリスクが潜在化していないか確認する

【オペDBデータ】 ID: 12345678 【事象概要】

.....

オペレーションミスに気付かず顧客へ返戻し、.....

.....

防止する手続きがあるか？

- 高額損失事象や内部不正事象など重要なオペリスク事象を分析



RCSAの実現

• FinTech
• emotet
• 成年後見人...

- 気になるオペリスクに関するキーワードでオペリスク事象を抽出・分析

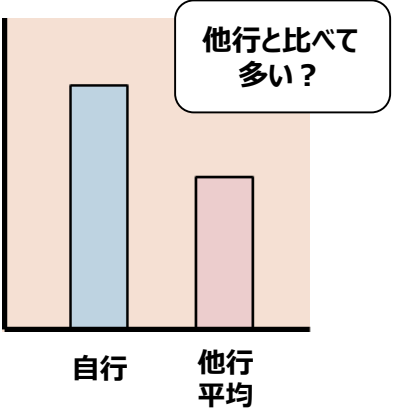


オペリスク発生の未然防止



② 自行のオペリスクの特徴を知る

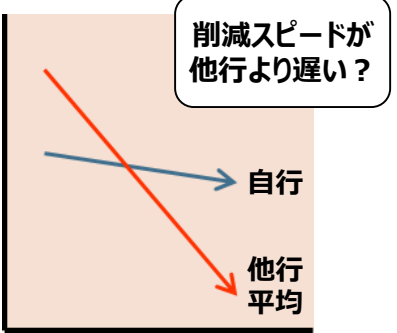
- 他行の発生状況と比較することで自行の特徴を知り、脆弱な部分を改善する



- 他行と比べて件数や損失金額が多い部分を確認



脆弱性のチェック
収集基準の適正化



- 他行の発生状況とあわせて、自行の発生状況を時系列で分析



業界トレンドと比較

オペレーショナル・リスク・データベースの概要

2010年10月より運用を開始した**オペリスク事象に特化したデータベース**です。
大手行や全国の地方銀行で発生したオペリスク事象を一元化し、質・量ともに十分なデータを保有しています。



データベース

- 会員ごとに異なるオペリスクデータのフォーマットをRDB共通のフォーマットへ正規化し、一覧性のあるデータベースとして還元
- 各リスク種類のオペリスクデータを網羅的に保有
- 自行では、あまり発生しないような「高額損失データ」、「内部不正データ」、「人的リスクデータ」、「災害データ」なども多数保有

自行が未経験の
オペリスク事象を
多数保有

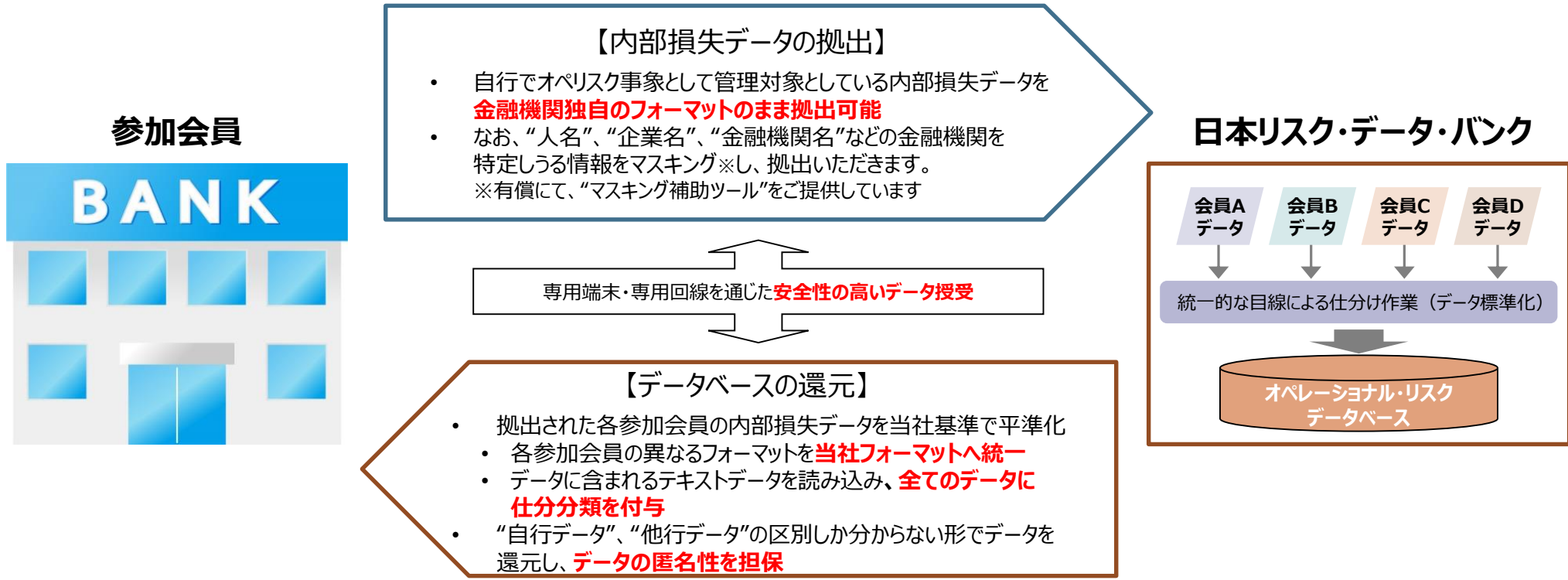


個別データ

- オペリスク事象の事象概要などは、発生した金融機関内で報告されたままのテキストを表示
- オペリスク事象で発生した直接的な損失金額に加え、対応人件費等の間接的な損失金額もあわせて表示
- RDBにおいて、業務・工程・事象の分類を付与し、データ概要が容易に把握可能

発生したオペリス
ク事象の詳細に
ついて把握・分
析が可能

- 参加会員より拠出されたデータ全件に“仕分分類（業務・工程・事象の3分類）”を付与し、データを還元します。
- 参加会員は、全会員の内部損失データを閲覧することができます。



<オペリスク管理を高度化したいお客様に・・・>

オペレーショナル・リスク・データベース 基本サービス概要

基本サービス

- 還元データのご提供（年4回）
 - ・ 仕分後内部損失データ：拠出された内部損失データをRDBフォーマットに統一変換して還元
 - ・ シナリオ I データ：仕分後内部損失データを業務・工程・事象区分ごとに集計
 - ・ シナリオ II データ：オペリスクに関する報道情報をRDBフォーマットに統一変換して還元
- 分析レポートのご提供（年2回）
 - ・ 還元データを集計・分析し、レポート形式でご提供
- ユーザー会議等の開催（年2回）
 - ・ 情報提供や意見交換の場としてユーザー会議を開催
- 会員向けレポートのご提供（年2回）
 - ・ オペリスクDBにかかるトピックや分析結果などをレポート形式でご提供

<より詳細なデータの活用、オペリスク管理体制整備やシステムを高度化したいお客様に・・・>

オペレーショナル・リスク・データベース オプションサービス概要

<p>TORAサービス (Technical Operational Risk Assessment)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 還元データのご提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要コード付還元データ：仕分後内部損失データにRDBが定義した重要リスク事象分類等を付与し還元（年4回） ・ 重要リスク事象パターン一覧：重要コード付還元データを重要リスク事象分類をもとに分類・集計（年4回） ・ リスクシナリオ候補一覧：仕分後内部損失データのうち、RDBが定義した「重要」と考えられるデータをシナリオ化して還元（年2回）
<p>個別アドバイザリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別会員様ニーズへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ CSA体制構築アドバイザリー 等
<p>オペリスク管理システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オペリスク管理システム「<i>RDB OpeRA</i>」のご提供

RDB OpeRA は、弊社と百五銀行が共同で開発した、オペリスクデータの収集・管理にかかるシステムパッケージです。弊社のデータベース運用のノウハウと、百五銀行のオペリスク管理のノウハウをもとに、内部損失事象のデータベース化から潜在リスクの管理・分析までを、トータルでサポートします。現在お使いのオペリスク管理システム・データ収集に課題をお感じのお客様は、是非ご検討ください。



<既存のシステムの問題点>

【データ収集上の問題点】

- ✓ システム目線、監査目線を重視したデータベース要件で、リスク管理に適した項目・分類になっていない
- ✓ 訂正オペレーションなど、古くからある収集条件を起点とする設計で、必要な内部損失情報全体が管理できない
- ✓ 報告とデータ収集に重点が置かれ、事象のその後のフォロー、再発防止にまでデータが連携できていない
- ✓ (電子データで内部損失事象をカバーできていない)

【リスク管理上の問題点】

- ✓ 顕在リスク・潜在リスクのそれぞれを「把握」できても、「評価」「改善」する機能が無い
- ✓ 業務棚卸方式によるRCSAの管理機能しか実装されていない
- ✓ 個別の事象にはアクセスできても、銀行全体のリスクの状況は把握できず、分析結果を経営に生かすことができない



< RDB OpeRA >

① オペリスク報告機能

- 発生した内部損失事象を本部へ電子データとして報告し、データベース化する機能
- ✓ オペリスク管理と業務改善の両面での活用を前提とする、実践的なデータ項目・データ分類
 - ✓ 幅広いリスク分野全体をカバーするデータベース設計
 - ✓ 発生から終息・再発防止までの「オペリスク事象のライフサイクル」全体をワークフローにて包括的に管理

② 潜在リスク管理機能

- 潜在リスクシナリオの作成、評価、削減など、潜在リスクを総合管理する機能
- ✓ シナリオアプローチによるRCSAに適したシステムフロー
 - ✓ オペリスクDBのデータなどを活用し、効率的にリスクシナリオを検討
 - ✓ ワークフローに基づき、現場、所管部、リスク管理部門の関係各部をくまなくフォローする報告・管理機能

③ オペリスク分析機能

- 自行で発生したオペリスク事象、オペリスクDBデータの分析、集計機能
- ✓ 自行の状況のほか、外部データとの比較による、客観的な分析・評価と結果のレポートングを実現
 - ✓ アラーム分析 (リスクの高まりを察知する仕組み) など独自集計

■ データ拠出条件

<ul style="list-style-type: none"> データ拠出 (会員の条件) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自行内部でオペリスクとして収集・認識している内部損失データ（直接損失または間接損失が発生しているもの）を弊社に拠出していただきます ● 拠出スケジュールは3か月毎とし、拠出月の3か月前の月初から前月末の間に発覚したオペリスク事象の全件が、データ拠出の対象となります (例：202X年4月1日～202X年6月30日の間に発覚した事象⇒202X年7月31日までに拠出) また、入会時には可能な限り、過去1年以上のデータ拠出をお願いしております ● データ拠出のフォーマットは任意ですが、電子ファイルにて、毎回同一のフォーマットでの拠出をお願いいたします <ul style="list-style-type: none"> ✓ 事前にフォーマットをご提出いただき、弊社DB項目との紐付けを実施します ✓ 電子ファイルになっていない過去データの拠出については、事前にご相談ください ● 拠出するデータについては、「顧客名」「銀行名」「担当者名」などが特定できる情報を、あらかじめ匿名化する作業（マスキング）を実施していただきます ● ご契約から3年間は、自己都合による退会、およびデータ拠出の中止ができません
---	--

■ 入会金・年会費等

<ul style="list-style-type: none"> 基本サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入会金（税別） 2,000千円 ● 年会費（税別） 3,000千円 <p>※事業法人データベースの会員様は入会金不要、年会費2,000千円（税別）となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> TORAサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間利用料（税別） 1,500千円
<ul style="list-style-type: none"> 個別アドバイザリー オペリスク管理システム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 別途、ご相談ください。

日本リスク・データ・バンク株式会社

〒105-0011 東京都中央区築地 5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス 15階

E-Mail : or@riskdatabank.co.jp <http://www.riskdatabank.co.jp/>

本資料に記載されている内容は、将来予告なく変更或いは改訂されることがあることをご了承ください。